

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」宇都宮海道校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	利用者同士が過ごしやすい環境づくりのためパーテーションや席の配置等を変えている	
	②	職員の配置数は適切である	4	0		適正基準を満たした職員配置をしている
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	外階段の使用における注意喚起を掲示物や個別の声掛けで行っている	利用者の特性に応じ、過ごしやすい環境を提供していく。日常的に保護者様からの情報を確認し、事業所内で共有していく
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	利用者の活動に合わせてパーテーションで区切ったり広く使うなどの工夫をしている	感染予防対策の為、机、いす、教具などの消毒、換気、湿度や温度管理を都度行う
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	0	内部での全体会議や 1on1 MTG を通して、運営面や個人業務に関して話し合う機会を作っている	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	アンケート調査においてご回答頂いた内容については職員間で共有し、今後の取り組みについて話し合いを行っている	頂いたご意見を今後の業務改善に繋げられるよう努める
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	社内の事業所ごとのホームページと事業所内の掲示において、毎年の評価表の結果を公表している	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	0	定期的な事業所内部の監査を行っている	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	定期的にテーマ研修や事例検討会の機会があり、管理者および指導員が対象で参加している	地域の外部研修（外部の出張研修等も含む）を、運営面に支障がない範囲で積極的に参加し、サービスの質の向上に繋げていく
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	アセスメントシートを活用し、客観的な指標をもって療育の方針を検討している	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		初回や定期的に用いることができるアセスメントツールをより使いやすく運用できるよう検討、作成をしていく

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	モニタリングの内容や支援者の見立てなどを総合的に加味し、具体的目づ、利用者や保護者のニーズに合わせた目標と支援内容を設定している	利用者様、保護者様のニーズを伺いながら、適切な支援内容を検討し支援計画に反映していく
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	支援準備時に個別支援計画を都度確認した上で支援を実施している	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	個別療育や小集団プログラムについてミーティングを実施し意見等を出し合っている	他事業所を併用している利用者様に関しては、担当者会議を開き、他事業所での様子なども把握していく
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	定期的に活動内容を見直し、話し合いを持ちながら今後の方針を決定していく	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	0	定期的に少人数での集団活動や就学に向けたプログラムを提供している	個別療育だけでなく、集団療育の中で見せる姿などもアセスメントし、多面的な見立てができるようにしていく
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	特に小集団プログラムにおいては「計画」→「準備」→「リハーサル」を経て実施している	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	終礼においてその日の情報共有、翌日の支援の確認、共有事項の確認の時間をとっている	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	日々の支援記録については担当した指導員が記録をつけ、共有や検討が必要なことについては教室ミーティング内において全体で確認をしている	具体的にその日の様子や支援の目的などが明確に分かるように記録をつけていく
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	基本的に6か月周期でモニタリングを実施し、支援計画の目標の見直しを行っている	必要であれば、都度モニタリングを実施し、支援計画の目標を改めて設定する	
関係機関や保護者と	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	担当者会議には基本的に児発管と必要であれば指導員も参加する	感染予防の影響もあり担当者会議の頻度が少ない。状況をみて、会議の開催を検討していく
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0		地域資源をより活用できるように今後も情報を把握していく
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—	該当児なし	

の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-	該当児なし	
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	支援記録などを保護者様にお渡しし、園の方へ事業所での様子や取り組みを共有している	特にお子様が通う園とは定期的に交流をし、必要時に情報交換を行えるようにする
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1		特にお子様が通う学校とは定期的に交流をし、必要時に情報交換を行えるようにする
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	今年度はリハセンの出張研修を受講(zoom研修)し言語聴覚士の方から助言やご指導を頂いた	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4		必要な時に対応ができるよう、日頃から各関係機関との連携を意識して取り組んでいく
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2		必要な時に対応ができるよう、日頃から各関係機関との連携を意識して取り組んでいく
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	療育提供後のフィードバックや事業所内相談支援において、日頃から保護者様との情報交換を密に行っている	事業所内相談支援を定期的に行いながら、継続的にお子様の様子や成長を把握していく
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	3		現状、プログラム化されたペアレント・トレーニングは実施できてはいない。ご要望に応じて検討していく
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	必要に応じて行政への問い合わせなどを行い、丁寧に保護者様への説明を行っている	引き続き管理者が窓口となり丁寧な対応をおこなっていく
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0		引き続き丁寧なご説明と支援計画の内容の同意を得るようにしていく
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	事業所内相談支援を実施し、保護者様からの相談を傾聴し、支援に繋げている	保護者様から気軽にご相談頂ける環境づくりを今後も努めていく
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4		地域の感染状況を加味し、安全に配慮しながら保護者様からのニーズにこたえていく
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、	4	0	お子様や保護者様からあった相談等はすぐスタッフ間で共有され対応についての検討を行っている	

	相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している					
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	チラシの作成や SNS の活用など複数のツールを使って教室内の取り組みを発信できる環境をつくっている	定期的に SNS(ブログやインスタグラム)の更新を行い情報発信を行っている	
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	個人情報に関わるものに関しては、事業所内のみで使用し、使用後は鍵付きのロッカーや引き出しに保管している	引き続き、個人情報に関する管理を徹底していく	
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	特性に応じて個室で区切られた場所で支援や相談を受ける場合もある		
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2		必要な時に対応ができるよう、日頃から各関係機関との連携を意識して取り組んでいく	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	各種マニュアルごとにファイリング。定期的に注意喚起などを行い、事業所内の対策について発信していく	掲示物やブログなどを活用し、利用者様や保護者様に周知ができる工夫を検討していく
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	水害、地震、火災など複数の非常災害を想定した避難訓練を実施している	可能な範囲でお子さんや保護者の方にもご協力を依頼し、避難訓練を実施する
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	ご契約前の保護者様との面談で確認をし、記録については個人ファイルに保管し職員全員に周知	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3	対象児なし	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	出来事を共有、確認した後にヒヤリハットを作成し、再発防止に努めていく	ヒヤリハットを作成することで意識を高く持ち、安全に運営をしていく事を職員全員が心掛けていく
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	管理者が県の虐待防止研修を受講し、その後、事業所内で全職員を対象に研修を行う	チェックリストの活用や職員同士の声掛け等を日常的に行い、継続して意識を高く持つ仕組みを作る
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	内部で共有している。また、個別支援計画においても記載がある	身体拘束の判断については予めマニュアル化し職員周知を行う。また、契約時に保護者への説明を引き続き行う

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」宇都宮海道校

保護者等数（児童数）：22 回収数：21 割合：95%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	1	0	0	パーティションで区切られているので活動に集中しやすいと思う	お子様の特性や状況に応じて適切な環境を提供していきます
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	2	0	1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	3	1	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	0	0	0	快適な空間で日々の活動ができています	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	21	0	0	0	定期的な面談が行われ、子どもの状態、保護者の意見を取り入れた支援計画が作られている	ニーズの聞き取りを継続的に行ってまいります
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21	0	0	0	計画に沿って、なおかつ本人の興味関心のある内容で支援を実施している	お子様が意欲的に取り組めることを大切にしながら支援を提供していきます
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19	2	0	0	子どもの興味関心や頑張っている事、挑戦中なものをその都度聞き取り、取り入れてくれている	複数の活動を組み合わせながらお子様にあった支援を検討します
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	6	9	1		必要な時に対応ができるようにしていきます
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	0	0	1		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	21	0	0	0		

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9	5	4	3	・相談は聞いてもらっています ・家族支援プログラムは提供されていない	今後事業所内において検討していきます
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19	2	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	2	0	0	毎月、面談の希望をとってくれるので相談しやすい	お子様の成長を定期的に確認させて頂いております
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	4	7	7	父母会等に参加したことがありません	今後事業所内において検討していきます
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20	1	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	1	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	17	3	0	1	SNS での発信を毎回楽しみにしている	お子様の作品などを、SNS 等を通して発信し、ご家庭で楽しんで頂けるように今後も継続していきます
非 常 時 等 の 対 応	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	20	1	0	0	SNS に活動の様子を載せる際、必ず確認をとってくれるので安心できる	引き続き、事業所内部で意識を高く持ち運営していきます
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	22	2	1	2		
満 足 度	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	3	2	4	行われているか分かりません	・定期的に SNS において事業所内の情報発信を行っています。また、実施後の報告を事業所内で掲示していきます
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	21	0	0	0	・明るく楽しい雰囲気に加え、褒めてもらえることで自信ができてきたように思う。楽しみにしているので、通所の為の準備を一生懸命やるようになった ・その日の活動内容や担当の先生の話など、家庭での会話の中にも生かされている	お子様の笑顔があふれる時間を一緒に過ごせるように、今後も支援を提供していきます
	㉓	事業所の支援に満足しているか	20	1	0	0	・就学に向けてもう少し学習へ切り替えができるようにシフトしてほしい ・子どもの特性をよく理解して適切に対応して頂き、できることが増えてきた。保護者へのフィードバックも分かりやすく、保護者の想いや願いをくみとってくれる ・本人の興味関心やその日の様子に合わせた支援が提供されていると思う	引き続き、保護者様に寄り添い、お子様の成長の手助けができる事業所を目指していきます。今後ともよろしくお願い致します。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。